

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

自然・歴史・文化に調和した「美しいみなと」の創出計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

広島県

福山市

3. 地域再生計画の区域

福山市の区域の一部（千年港，横田港及び田尻漁港）

4. 地域再生計画の目標

千年港，横田港及び田尻漁港は，瀬戸内海の中央部にあたる広島県福山市に位置している。

本地域は，古くから潮待ちの港として栄えてきたほか，朝鮮通信史が「日東第一景勝」と評した鞆の浦や，沼隈半島の先端に位置する阿伏兎（あぶと）の瀬戸を有するなど，自然に恵まれた観光拠点ともなっている。

しかし，観光立地に恵まれた地域として環境整備が進められる中，近年の漁船や小型船の係留施設整備の不足により，海上からの景観は，係留船舶によって著しく阻害されている。これは，係留施設に係留できないこれらの船が海岸沿いに係留されているためであり，地域の景観を損ねているだけでなく，日常の漁業活動にも支障をきたしている状況である。

こうした漁船や小型船の係留施設整備の遅れから，本地域に訪れる観光客は，地域がポテンシャルを有しているのにも拘わらず年間 100 万人程度と，近隣の観光地である尾道の半分以下に留まっている。

近年，観光シーズンに尾道から鞆の浦を訪れる海上ルートが開設され，鞆の浦の対岸の仙酔島周辺で催される観光鯛網漁などにより観光客の増加が見込まれる他，本地域沿岸部にはクレセントビーチ等の海水浴場が点在しているが，ルート上にある周辺地域の連携した景観形成は著しく低く，個別の対策が行なわれているに過ぎない。

こうした中，観光客の増加による地域の活性化を目指すためには，「鞆の観光鯛網」や「横島底曳網観光」，「田島定置網観光」といったイベントを継続実施するほか，観光開発の動きと併せて地域が有する自然や歴史に見合った陸海双方からの景観を形成していくことが急務となっている。

そこで，千年港，横田港，田尻漁港が連携して小型船だまり及び水産物供給基盤の整備を行い，漁船や小型船の係留状態を整理し，鞆の浦の歴史と文化や阿伏兎の瀬戸および観光鯛網漁といった自然とのふれあいの場を核とした自然豊かな沼隈半島地区全体の美しいみなとづくりを目指す。

(目標) 千年港，横田港，田尻漁港の周辺の海岸沿いに係留されている漁船および小型船の解消を図るため，57 隻収容できる係留施設を整備する。

5．目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

千年港で 17 隻，横田港で 29 隻，田尻漁港で 11 隻収容できる係留施設を整備する。また，これら係留施設へのアクセスを目的として臨港交通施設および輸送施設を整備し，港内の静穏度の確保の目的から外郭施設を整備する。さらに，水域施設および漁港施設用地等を整備することにより，漁業活動の支援を図る。

5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

港整備交付金を活用する事業

[施設の種類と事業主体]

- ・港湾施設（千年港，横田港） 広島県
- ・漁港施設（田尻漁港） 福山市

[整備量]

- ・港湾施設・・・外郭施設，係留施設，臨港交通施設
- ・漁港施設・・・外郭施設，水域施設，係留施設，輸送施設，漁港施設用地

[事業期間]

- ・港湾施設 平成 17 年度～平成 21 年度
- ・漁港施設 平成 18 年度～平成 19 年度

[総事業費]

- ・総事業費 1,475,353 千円
- ・港湾施設 771,353 千円（うち交付金 308,542 千円）
- ・漁港施設 704,000 千円（うち交付金 352,000 千円）

5 - 3 その他の事業

本地域は，観光客が訪れるイベントとして「鞆の観光鯛網」や「横島底曳網観光」，「田島定置網観光」が催されており，「鞆の観光鯛網」については，福山市が補助金を支出してイベントを支援している。

また，クレセントビーチや海上ルートの開設により，陸海双方からの観光客の増加が見込まれ，イベント等と連携した地域活性化を推進していくこととしている。

6．計画期間

平成 17 年度～平成 21 年度(5 カ年)

7．目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に，4 に示す数値目標に照らし，事業主体が状況を調査，評価し，

公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、市、関係機関等で構成する「地域再生計画評価協議会」を設立し、施設の整備状況について評価・検討を行なう。

8．地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項
該当なし